

加盟校野球部 責任教師 殿

7 イニング制に関するアンケート実施について

公益財団法人

日本高等学校野球連盟

日本高等学校野球連盟は 1946（昭和 21）年の設立以来、「高校野球は教育の一環」という理念を掲げ、高校野球の発展に努めております。

全国高等学校野球選手権大会、選抜高等学校野球大会の両大会は 100 年を越える歴史を重ね、また全国高等学校野球軟式選手権大会は今年で 70 年を迎えるように高校野球は多くの国民の皆さまに支えられ、今日まで歩みを重ねています。

現在、高校野球を取り巻く周辺環境は大きく変化しており、当連盟はこの周辺環境に対応するための一つの対策として、2025（令和 7）年 1 月に「7 イニング制等高校野球の諸課題検討会議」を発足させ、高校野球における 7 イニング制の議論を始めています。

当連盟が 7 イニング制に関する議論を行っている背景は以下の通りです。

- (1) 昨今、高校野球の部員数が減少傾向にある中（資料 1）、加盟校間で部員数の差が顕著にあらわれており、部員不足による連合チームも増加している（資料 2）。
高校野球が直面している課題（教員の働き方改革、部員の健康対策・熱中症ならびに障害予防）や社会全体が直面している課題（国内のダウンサイジングに伴う、人口減、都市部と都市部以外の差）に対して、高校野球の今後、10 年、20 年後の更なる発展を見据えて今何に取り組まなければならないかを考える必要がある。
- (2) 上記(1)を踏まえて、全国大会（選抜高等学校野球大会、全国高等学校野球選手権大会、全国高等学校軟式野球選手権大会）ならびに都道府県大会（春・秋大会・選手権地方大会）を今後どのようにして運営していくのかを考えていかなければならない。
- (3) 日本学生野球憲章（基本原理）ならびにスポーツ基本法（基本理念）を念頭にして、成長期である部員が、安全に安心して野球に取り組むための対策を講じていく必要がある。
- (4) 社会全体で夏季の熱中症リスクが叫ばれる中、夏季に大会を開催することが高校野球関係者以外（社会）からどのように映るのかを認識、自覚する必要がある。
- (5) 普段の練習や公式戦開催に伴い、選手・部員・応援生徒・指導者・審判員・観客などの方々に重大事故が発生してから、あるいは国や自治体からの指示を受けてから議論をスタートするのではなく、高校野球関係者が自主自律の姿勢で議論していかなければならない。
- (6) 今後も国内の人口減少が見込まれ、更なる気候変動が予想され、暑さもより厳しくなると見込まれる中で「何も対策を講じない」ままでよいのかという危機感を持つべきである。

(7) 7イニング制を考察するうえでは、熱中症対策は重要なテーマだが、数ある課題の一つである。一方で、熱中症対策は差し迫った喫緊の課題である。

当連盟では、上記を踏まえて2025（令和7）年「7イニング制等高校野球の諸課題検討会議」を発足させるにあたり、7イニング制を採用した場合に想定される変化と、それに伴うメリット・デメリットについて昨年1年間をかけて「7イニング制ワーキンググループ」にて検討しました。結果は以下の通りです。

想定される変化	属性	メリット	デメリット
試合時間の短縮	部員	障害予防の推進 （特に投手の肩、肘） 熱中症リスクの減少	試合を楽しむ時間の減少
	社会	安全重視のメッセージの発信	
	大会運営	運営の柔軟性や工夫の容易性 （1日の試合数、会場数、 試合時間の変更等）	
投球数の減少	部員	障害予防の推進	
6アウトの減少	部員	部員不足チームの安全な試合参加	部員の出場機会の減少
試合展開、戦術の変化	部員	国際基準への習熟	上部カテゴリー（大学、社会人、プロ）などとの連続性の喪失
	社会		慣れや変更への違和感
記録の非連続性	部員		過去大会との記録比較不可 記録の歴史的価値の減少
	社会		

今後、当連盟内で議論を尽くしてまいります。本件は高校野球において極めて重要なテーマであり、結論を導き出す過程において、連盟内での議論のみならず、加盟校の指導者、部員や高校野球を支えていただいているファンの方々の声に耳を傾けなければならないと考えております。

このような背景があり、今般、全加盟校を対象としたアンケート調査を実施致します。

高校野球での7イニング制について、責任教師が指導者、部員の意見も反映していただき、貴校野球部としての意見を取り纏め、下記URLあるいはQRコードから質問に対して回答のほどお願い申し上げます。

全国高等学校野球選手権地方大会開催中あるいは開幕前の多忙な時期にはなりますが、7月18日（金）17時までに回答のほど、ご協力、お願い申し上げます。

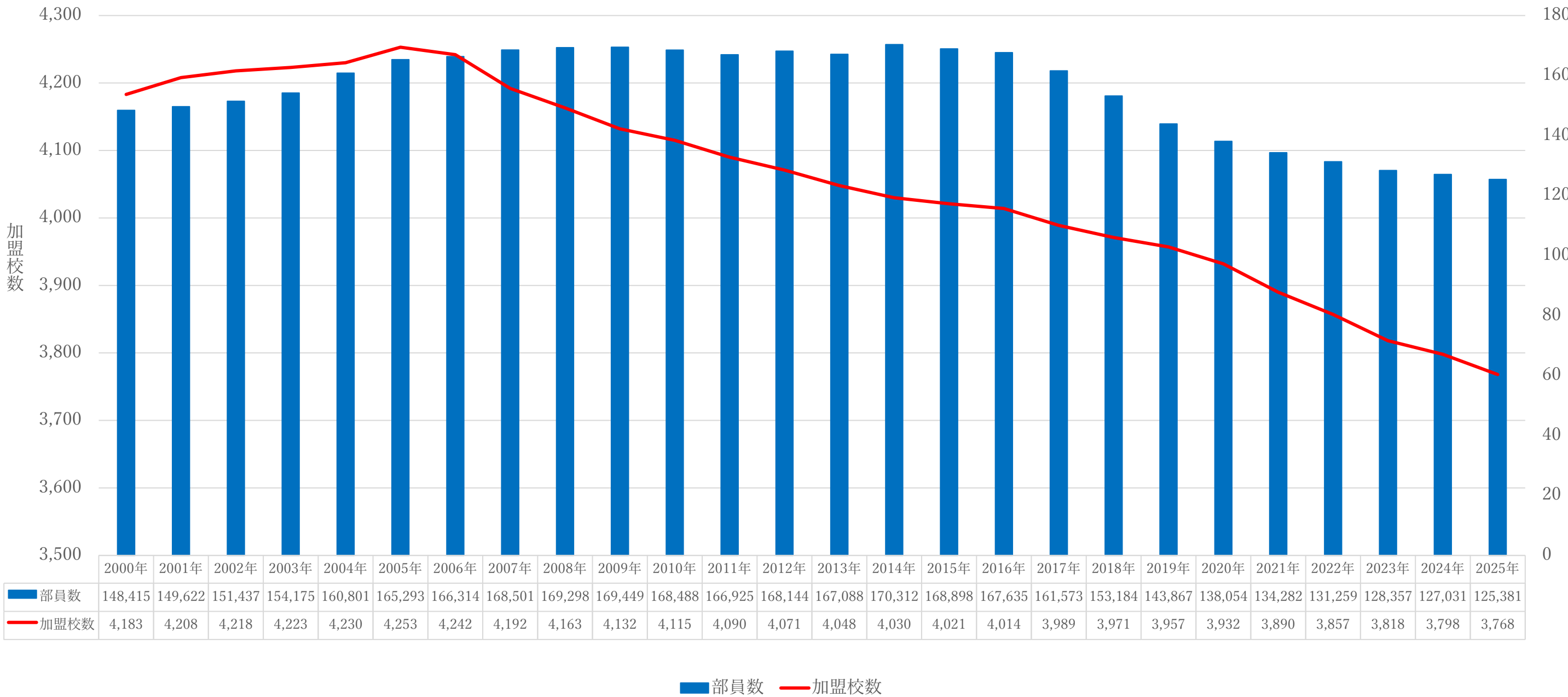
URL：<https://www.net-research.jp/1279630/>



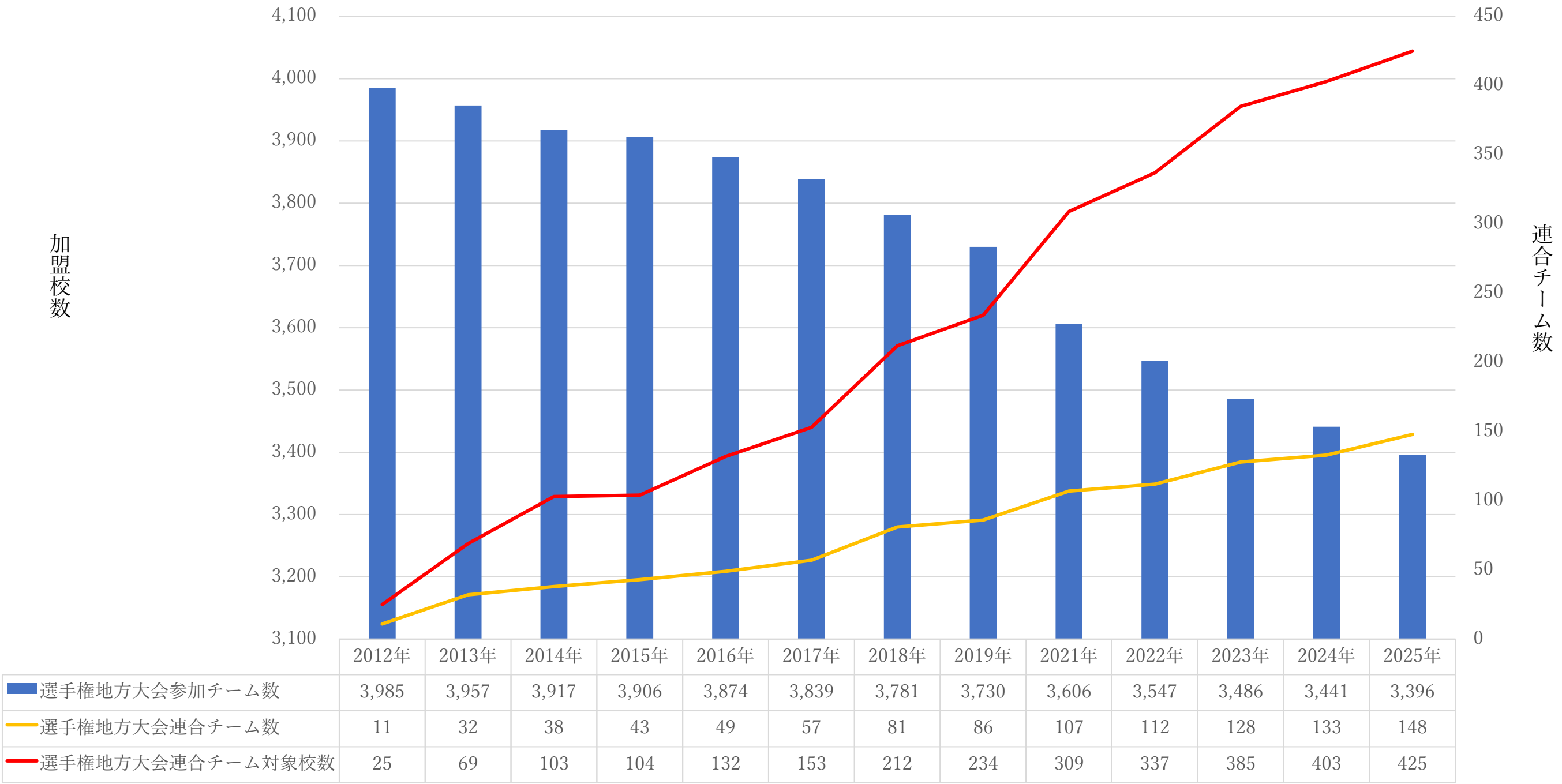
以上

加盟校数と部員数の推移（硬式）

部員数（千人）



連合チームの推移（硬式）



※ 2020年は選手権大会中止の為、データなし

16歳から18歳の人口と野球部員（硬式）の比率

